

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	英検2級総合対策P3～13 出る順で最短合格単熟語EX P3～13	10月受験対策
学年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	小林・皆川・寺田・鈴木	2	出る順で最短合格単熟語EX P14～24 リスニング30問	10月受験対策
科目名	TOEIC&英検ストラテジー I (TOEICクラス)	時間数	136単位時間	3	英検2級過去問題集2015年第1回 解答解説	10月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	4	英検2級総合対策P14～24 2級過去問題2019長文解答	10月受験対策
使用テキスト名				5	2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
補助教材				6	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	10月受験対策
				7	英検2級対策P25～35 2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
科目概要と科目到達目標				9	英検2級対策P36～46 2級過去問題集2019年第3回解答	10月受験対策
科目到達目標: ListenngとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付けTOEICのスコアアップ、英検を取得する。				10	短文暗唱テスト出る順で最短合格単熟語EX P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検2級総合対策P47～57 2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P36～46	10月受験対策
				14	英検2級総合対策P58～68 2級過去問題集2019年第2回	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	英検2級総合対策P69～79 2級過去問題集	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる				16	短文暗唱テスト 出る順で最短合格単熟語EX P47～57解説	10月受験対策
リスニング対策				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	英検2級総合対策P80～90解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				19	英検2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	TOEIC公開テスト対策	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P58～68	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10%				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
【成績評価基準】				23	英検2級総合対策P102～112	1月受験対策
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	英検2級総合対策P113～123 解答解説2級過去問題単語テスト	1月受験対策
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P69～79	1月受験対策
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	英検2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検2級総合対策P135～145解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P80～90	1月受験対策
				31	英検2級対策P146～156解答解説 2級過去問題単語テスト	1月受験対策
実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P102～112	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	英検2級総合対策P3～13 出る順で最短合格単熟語EX P3～13	10月受験対策
学年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	小林・皆川・寺田・鈴木	2	出る順で最短合格単熟語EX P14～24 リスニング30問	10月受験対策
科目名	TOEIC&英検ストラテジー I (英検2級クラス)	時間数	136単位時間	3	英検2級過去問題集2015年第1回 解答解説	10月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	4	英検2級総合対策P14～24 2級過去問題2019長文解答	10月受験対策
使用テキスト名				5	2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
補助教材				6	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	10月受験対策
				7	英検2級対策P25～35 2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
科目概要と科目到達目標				9	英検2級対策P36～46 2級過去問題集2019年第3回解答	10月受験対策
科目到達目標: ListenngとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付けTOEICのスコアアップ、英検を取得する。				10	短文暗唱テスト出る順で最短合格単熟語EX P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検2級総合対策P47～57 2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P36～46	10月受験対策
				14	英検2級総合対策P58～68 2級過去問題集2019年第2回	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	英検2級総合対策P69～79 2級過去問題集	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる				16	短文暗唱テスト 出る順で最短合格単熟語EX P47～57解説	10月受験対策
リスニング対策				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
対面授業と遠隔授業の併用実施				18	英検2級総合対策P80～90解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				19	英検2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	TOEIC公開テスト対策	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P58～68	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10%				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
【成績評価基準】				23	英検2級総合対策P102～112	1月受験対策
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	英検2級総合対策P113～123 解答解説2級過去問題単語テスト	1月受験対策
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P69～79	1月受験対策
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	英検2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検2級総合対策P135～145解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P80～90	1月受験対策
				31	英検2級対策P146～156解答解説 2級過去問題単語テスト	1月受験対策
実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P102～112	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい				
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	何故メイクが必要か？メイクの必要性について	何故メイクをするのか？ 授業進度について 評価方法				
学年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	加藤広美	2	自己紹介 ・メイクについて絡ませながらの自己紹介	自分にとってのメイクとは？				
科目名	Image Making I	時間数	68単位時間	3	自分流のメイク	自分流のメイクとは何？身だしなみとの違いについて				
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	普段のメイクと仕事メイクの違いについて	ビジネスメイクとは？				
使用テキスト名				5	航空業界のメイクについて ・国内線と外資系 客室乗務員メイク	業界よってのメイク使いが違うことを知ろう				
補助教材	エアステージ			6	顔立ちからのメイク方法	人それぞれの骨格によってメイクが変わる				
科目概要と科目到達目標				7	顔立ちからのメイク方法 ・下地 保湿	基礎メイクの方法を学ぶ				
				8	顔立ちからのメイク方法 ・下地 保湿	基礎メイクの方法を学ぶ				
航空業界への就職先に伴い、航空業界用のメイク指導から自分でMakingできる技術を学ぶ ⇒第一印象であったり、老若男女に好かれるメイク方法を学ぶ				9	顔立ちからのメイク方法 ・下地 保湿	基礎メイクの方法を学ぶ				
				10	顔立ちからのメイク方法 ・ベース	基礎メイクの方法を学ぶ				
				11	顔立ちからのメイク方法 ・ベース	基礎メイクの方法を学ぶ				
				12	顔立ちからのメイク方法 ・眉	基礎メイクの方法を学ぶ				
				13	顔立ちからのメイク方法 ・眉	基礎メイクの方法を学ぶ				
				14	顔立ちからのメイク方法 ・目	基礎メイクの方法を学ぶ				
授業の進め方・学習方法・課題				15	顔立ちからのメイク方法 ・目	基礎メイクの方法を学ぶ				
				講師の先生より、毎回モデルになってもらう学生を選び、それぞれの顔立ちからMakingしていくことで学んでい				16	顔立ちからのメイク方法 ・目	基礎メイクの方法を学ぶ
								17	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール	基礎メイクの方法を学ぶ
								18	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール	基礎メイクの方法を学ぶ
								19	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール 色合い	基礎メイクの方法を学ぶ
								20	顔立ちからのメイク方法 ・アイホール 色合い	基礎メイクの方法を学ぶ
評価方法・成績評価基準								21	顔立ちからのメイク方法 ・アイラインの入れ方	基礎メイクの方法を学ぶ
				22	顔立ちからのメイク方法 ・アイラインの入れ方	基礎メイクの方法を学ぶ				
				23	顔立ちからのメイク方法 ・チークの入れ方	基礎メイクの方法を学ぶ				
				24	顔立ちからのメイク方法 ・チークの入れ方	基礎メイクの方法を学ぶ				
				25	顔立ちからのメイク方法 ・鼻筋	基礎メイクの方法を学ぶ				
				26	顔立ちからのメイク方法 ・鼻筋	基礎メイクの方法を学ぶ				
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				27	顔立ちからのメイク方法 ・それぞれのコンプレックスからメイク方法 目	基礎メイクの方法を学ぶ				
				28	顔立ちからのメイク方法 ・それぞれのコンプレックスからメイク方法 目	基礎メイクの方法を学ぶ				
				29	顔立ちからのメイク方法 ・それぞれのコンプレックスからメイク方法 目	基礎メイクの方法を学ぶ				
				30	顔立ちからのメイク方法 ・それぞれのコンプレックスからメイク方法 鼻	基礎メイクの方法を学ぶ				
				31	顔立ちからのメイク方法 ・それぞれのコンプレックスからメイク方法 鼻	基礎メイクの方法を学ぶ				
実務経験教員の経歴				32	顔立ちからのメイク方法 ・IMAGE MAKING	航空業界用のメイクとは				
				33	顔立ちからのメイク方法 ・IMAGE MAKING	航空業界用のメイクとは				
				34	顔立ちからのメイク方法 ・IMAGE MAKING	航空業界用のメイクとは				

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	授業の進め方・授業内容・成績評価方法・基準	今後の授業の進め方。勉強の進め方のポイント
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	2	47都道府県テスト・白地図を埋める	一般常識の確認
学 年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	北村 裕美	3	47都道府県テスト・県庁所在地を埋める	一般常識の確認
科 目 名	地理Information I	時間数	34単位時間	4	都道府県別にみた国内観光資源・北海道・青森・岩手・宮城・秋田	都道府県の観光地・資源の知識&習得
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業	5	都道府県別にみた国内観光資源・北海道・青森・岩手・宮城・秋田	都道府県の観光地・資源の知識&習得
使用テキスト名	旅にでたくるなる日本地図			6	都道府県別にみた国内観光資源・北海道・青森・岩手・宮城・秋田	都道府県の観光地・資源の知識&習得
補助教材	旅行業務実務シリーズ 国内観光地理 パワーポイント			7	都道府県別にみた国内観光資源・山形・福島・茨城・栃木	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				8	都道府県別にみた国内観光資源・山形・福島・茨城・栃木	都道府県の観光地・資源の知識&習得
科目概要と科目到達目標				9	都道府県別にみた国内観光資源・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・(伊豆)	都道府県の観光地・資源の知識&習得
就職先のひとつとして、空港内にあるインフォメーションカウンターに対応できる案内知識を学ぶ。				10	都道府県別にみた国内観光資源・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・(伊豆)	都道府県の観光地・資源の知識&習得
インバウンドのお客様が多くなっている中で、日本の観光地などを広く情報として案内できるように国内観光地理				11	都道府県別にみた国内観光資源・新潟・富山・石川・福井・山梨	都道府県の観光地・資源の知識&習得
学び、お客様へ提供する。				12	都道府県別にみた国内観光資源・新潟・富山・石川・福井・山梨	都道府県の観光地・資源の知識&習得
旅行地理検定(国内)試験の取得を目指す				13	都道府県別にみた国内観光資源・長野・岐阜・静岡・愛知・三重	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				14	都道府県別にみた国内観光資源・長野・岐阜・静岡・愛知・三重	都道府県の観光地・資源の知識&習得
授業の進め方・学習方法・課題				15	都道府県別にみた国内観光資源・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良	都道府県の観光地・資源の知識&習得
○日本の自然景観から学び、その後は47都道府県それぞれの観光地をチェックする。				16	都道府県別にみた国内観光資源・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良	都道府県の観光地・資源の知識&習得
それぞれの分野が終了した段階で小テストなどを重ねて知識をつけていく。				17	都道府県別にみた国内観光資源・和歌山・鳥取・島根・岡山・広島	都道府県の観光地・資源の知識&習得
地図帳には、学んだ景観や観光地などをチェックして場所の確認をする。				18	都道府県別にみた国内観光資源・和歌山・鳥取・島根・岡山・広島	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				19	都道府県別にみた国内観光資源・山口・徳島・香川・愛媛・高知	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				20	都道府県別にみた国内観光資源・山口・徳島・香川・愛媛・高知	都道府県の観光地・資源の知識&習得
評価方法・成績評価基準				21	都道府県別にみた国内観光資源・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分	都道府県の観光地・資源の知識&習得
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	都道府県別にみた国内観光資源・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				23	都道府県別にみた国内観光資源・宮崎・鹿児島・沖縄	都道府県の観光地・資源の知識&習得
				24	都道府県別にみた国内観光資源・宮崎・鹿児島・沖縄	都道府県の観光地・資源の知識&習得
【成績評価基準】				25	地理小テスト	ウィークポイントの把握と確認
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26	世界遺産①	世界遺産とは?
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27	世界遺産②	世界遺産の知識と習得
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28	世界遺産③	世界遺産の知識と習得
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29	世界遺産④	世界遺産の知識と習得
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30	ツアープラン 考案	習得した知識の中でのツアープランの提案
				31	プレゼンテーション 発表①	習得した知識の中でのツアープランの提案
実務経験教員の経歴				32	プレゼンテーション 発表②	習得した知識の中でのツアープランの提案
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界で必要な航空約款や出入国関係法令や専門知識など航空に関わる実務経験7年。				33	まとめ	習得した知識の確認
				34	地理テスト	習得した知識の確認

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	秘書検定とは？	何故秘書検定を学ぶのか？秘書検定2級検定の問題と試験対策
学年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	北村 裕美	2	秘書の資質	●社会人としての意識 ●補佐役としての秘書
科目名	秘書検定2級対策	時間数	34単位時間	3	秘書の資質	●求められる人間性とセンス 組織の中の秘書
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	練習問題	小テスト
使用テキスト名				5	職務知識	●組織中の秘書 ●スタッフとしての秘書 ●秘書の日常業務
補助教材	パワーポイント			6	練習問題	小テスト
				7	一般知識	●会社の経営 ●企業会計 ●法律
				8	一般知識	●人事・労務 ●マーケティング ●情報処理
科目概要と科目到達目標				9	一般知識	●社会常識 練習問題
秘書検定2級取得を目指す。(1年次は3級全員合格を目指す) 全般的な職務への理解、秘書業務への知識、そして技能を備えているかどうかを学ぶ。 対人関係や事務処理能力のプロとして、上司を補佐する秘書の知識を学ぶ				10	マナー・接遇	●人間関係と秘書の心得 ●敬語・接遇用語
				11	マナー・接遇	●話方・聞き方 ●少し複雑な話し方・聞き方
				12	マナー・接遇	●来客対応 心構え
				13	マナー・接遇	●受付対応
				14	マナー・接遇	●応接室への案内・お茶の出し方
授業の進め方・学習方法・課題				15	マナー・接遇	●電話対応
教材を中心に展開していく また、小テストなどを挟みながら学ぶ。				16	マナー・接遇	●交際の業務 ●弔事に伴う業務 ●贈答
				17	練習問題	小テスト
				18	技能	●会議の知識 ●文書の作成
				19	技能	●ビジネス文書・社内文書・社外文書①
				20	技能	●ビジネス文書・社内文書・社外文書②
評価方法・成績評価基準				21	技能	●文書の取り扱い ・適切な郵送の選び方①
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	技能	●文書の取り扱い ・「秘」扱文書他
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	技能	●ファイリング ・ファイリングの特徴 ・ファイルの並べ方・まとめ方
				24	技能	●資料管理 ・名刺の整理 ・名刺整理の手順と注意点
				25	技能	●新聞・雑誌の整理 ・切り抜きの仕方と整理の仕方
				26	技能	●その他の整理 ・カタログ・パンフレットの整理
				27	技能	●資料・情報の収集 ・データの入手法
				28	技能	●日程管理 ・予定表の種類と特徴
				29	技能	●日程管理の原則と注意点
				30	技能	●出張に関する秘書業務① ・出張計画 ・準備の進め方
				31	技能	●出張に関する秘書業務① ・上司の出張中の仕事 ・後の仕事
実務経験教員の経歴				32	技能	●環境の設備 ・オフィスのレイアウト ・オフィス機器と事務用品
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界で必要な航空約款や出入国関係法令や専門知識など航空に関わる実務経験7年。				33	秘書検定試験2級 過去問題	テスト
				34	秘書検定試験2級 過去問題	テスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必修	1	Chapter1 Wordの基本一(Wordの起動・画面構成・操作・ヘルプの使い方)	基本操作の理解
学年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	今井真由美	2	Chapter1練習問題・テスト	文字入力について
科目名	PC実習 I	時間数	68単位時間	3	Chapter2 文字入力と基本操作一(新規文書の作成・日本語入力システム)	文字入力について
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	文字入力と基本操作一(文字の入力と変換・単語の登録)	文字入力について
使用テキスト名	Microsoft Word/Excel 2019 クイックマスター			5	文字入力と基本操作一(文書の保存・文字の選択)	文字入力について
補助教材	Word /Excel文書処理技能認定試験 問題集			6	文字入力と基本操作一(文字列の編集・コピー・移動)	文字入力について
科目概要と科目到達目標				7	Chapter2練習問題・テスト	文字入力について
Word処理技能検定3級取得				8	Chapter3 文書の編集一(学習する内容・ページ書式設定)	文章の編集について
Excel表計算処理技能認定試験3級 取得				9	文書の編集一(文字の書式設定・文字幅と間隔の設定)	文章の編集について
				10	文書の編集一(文字の配置・字下げと行間の設定)	文章の編集について
				11	文書の編集一(禁則処理・罫線と網掛け)	文章の編集について
				12	Chapter3練習問題・テスト	文章の編集について
				13	Chapter4 文書の印刷一(学習する内容・改ページの挿入)	印刷について
				14	文書の印刷一(ヘッダー・フッターの設定)	印刷について
授業の進め方・学習方法・課題				15	文書の印刷一(印刷イメージの確認方法・印刷の実行)	印刷について
Word処理技能検定3級・Excel表計算処理技能認定試験3級 合格				16	Chapter4練習問題・テスト	印刷について
3級に必要な時間内でのタイピング、罫線の引き方、文字設定の仕方、印刷のかけ方				17	Chapter5 文書の作成一(学習する内容・入力オートフォーマット/あいさつ文)	文章フォーマットについて
など基本的な作業を理解し、ビジネスレターやポスターなどを効率的に製作する方法を学ぶ				18	文書の作成一(学習する内容・入力オートフォーマット/段落番号・設定)	文章フォーマットについて
対面授業と遠隔授業の併用実施				19	文書の作成一(箇条書きの設定・タブ)	文章フォーマットについて
				20	TOEIC公開テスト対策	文章フォーマットについて
評価方法・成績評価基準				21	文書の作成一(ビジネス文書の作成例)①	文章フォーマットについて
①検定合格 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%				22	文書の作成一(ビジネス文書の作成例)②	文章フォーマットについて
【成績評価基準】				23	Chapter5練習問題・テスト	文章フォーマットについて
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	Chapter6 表を使った文書の作成一(学習する内容・表の作成)	表の作成について
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	表を使った文書の作成一(表の選択方法・表の編集)	表の作成について
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	表を使った文書の作成一(表の装飾・文字列から表を作成する)	表の作成について
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	Chapter6練習問題・テスト	表の作成について
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	Chapter7 図形や画像を使った文書の作成一(学習する内容・図形の作成)①	図形や画像作成について
				29	図形や画像を使った文書の作成一(図形の作成)②	図形や画像作成について
				30	形や画像を使った文書の作成一(図形の編集・挿入)①	図形や画像作成について
				31	形や画像を使った文書の作成一(図形の編集・挿入)②	図形や画像作成について
実務経験教員の経歴				32	形や画像を使った文書の作成一(横書きテキスト ボックスの挿入・ワードアートの挿入)	図形や画像作成について
				33	Chapter7練習問題・テスト	図形や画像作成について
				34	総合学習問題・テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	外資面接とは	授業内容の説明&授業態度など 評価方法基準など説明
学年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	鈴木	2	自己紹介 一人ずつ発表	他者に覚えてもらえる自己紹介をできるようにする
科目名	外資Interview	時間数	34単位時間	3	外資面接と日本語面接の違い	ポイントは何か？
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	自己紹介の作り方 ポイントなど	ポイントを学ぶ
使用テキスト名	石井隆之著 面接の英語			5	自己紹介 各自作成	自己分析をする
補助教材	パワーポイント スライド			6	英語での自己紹介 発表 ①	発表
科目概要と科目到達目標				7	英語での自己紹介 発表 ②	発表
				8	長所と短所 ・作成のポイント	ポイント説明
エアライン・ホテル・観光業界の就職試験での英語での面接指導と就職活動に必要な書類作成。 発表を用い、自己だけでなく他者を理解し、自己啓発を図る				9	長所作成①	各自作成①
				10	長所作成②	各自作成②
				11	長所作成③	各自作成③
				12	長所発表・レビュー	発表
				13	短所作成①	各自作成①
				14	短所作成②	各自作成②
授業の進め方・学習方法・課題 各業界での英語による面接事例を紹介し、日本語と英語での面接の違いを理解し、相互に活用できるポイントを教授する。				15	短所作成③	各自作成③
				16	短所発表・レビュー	発表
				17	志望動機の書き方	ポイント説明
				18	志望動機作成①	各自作成①
				19	志望動機作成②	各自作成②
				20	志望動機作成③	各自作成③
評価方法・成績評価基準  ①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	志望動機発表	発表
				22	志望動機発表のレビュー	自己の志望動機の分析
				23	英語での履歴書の紹介と書き方	英語と日本語の履歴書の違い
				24	英語履歴書の作成①	作り方ポイント
				25	英語履歴書の作成②	作り方ポイント
				26	英語でのESの書き方	企業研究の仕方
				27	英語ESの作成①	書き方の方法 ポイント
				28	英語ESの作成②	御礼状の書き方
				29	英語面接練習(個人)①	・試験のマナー ・面接試験対策 ・形式 ・受け答え ・圧迫面接
				30	英語面接練習(個人)②	・筆記試験対策 ・適正検査 ・一般常識 ・作文&小論文
				31	受験後の報告の仕方	・報連相について
実務経験教員の経歴  航空会社にて客室乗務員として国内線、国際線の実務経験あり、航空業界で必要な航空約款や出入国関係法令や専門知識など航空に関わる実務経験あり。				32	模擬面接 個人面接	模擬面接①
				33	模擬面接 個人面接	模擬面接②
				34	模擬面接 グループ面接	模擬面接③

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	手話って？	手話の基礎知識 (目指すもの・評価・検定) 自己紹介
学年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	中林先生	2	自己紹介①	指文字 ゲーム(指文字)
科目名	手話 I	時間数	34単位時間	3	自己紹介②誕生日 数字 年齢 指文字	年齢 月日 曜日
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	自己紹介③趣味 特技その他 指文字	好きな食べ物
使用テキスト名	ゼロからわかる手話入門			5	自己紹介④家族 星座 好きな色 指文字	家族 仕事 学校
補助教材	パワーポイント			6	自己紹介⑤仕事 学校 指文字	仕事 学校
				7	自己紹介⑥住んでるところ	市町村 都道府県
				8	都道府県①	北海道～北陸地方
科目概要と科目到達目標				9	都道府県②	関東地方～中国地方
手話検定試験4級取得に向けた授業展開 ⇒基本的な手話表現力ができる あいさつ、自己紹介、趣味について相手に尋ねたり答えたりすることができる ⇒更に、お店や窓口で簡単な接客の会話や日付や時刻、金額など数字の入った表現ができる。				10	都道府県③	山陰地方～沖縄
				11	ゲーム	手話かるた 都道府県
				12	都道府県テスト、指文字テスト、単語テスト①	小テスト
				13	都道府県テスト、指文字テスト、単語テスト②	小テスト
				14	講義内容	聴覚障がい者とは 生活
授業の進め方・学習方法・課題				15	手話検定試験 模擬試験	7級
手話検定4級取得に向けて、検定対策の単語学習・ロールプレイの実施。手話も言語のひとつということから楽しく手話を学んでいく。				16	手話検定試験 模擬試験	6級レベル
				17	前期テスト	テスト
				18	YES・NO疑問の表現①②	はい、いいえで答えてみる
				19	WH疑問の表現①②	疑問形の手話を学ぶ
				20	疑問・肯定・否定の表現	否定・肯定の表現の仕方を学ぶ
評価方法・成績評価基準				21	代名詞としても指差しの使い方	指差の仕方について①
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	指示登録と指差し	指差の仕方について②
【成績評価基準】				23	時制表現 過去	過去の表現方法
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	推定の表現	推定の表現方法
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	伝聞の表現	伝聞の表現方法
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	意図の表現	意図の表現方法
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	動詞の語形変化①	動詞の様々な変化①
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	動詞の語形変化②	動詞の様々な変化②
				29	語形変化しない動詞を使った表現	変化しない動詞の表現方法
				30	文のバリエーション①可能	バリエーション①
				31	文のバリエーション②可能	バリエーション②
実務経験教員の経歴				32	手話特有の語彙	語彙について
				33	後期テスト 筆記	筆記テスト①
				34	後期テスト 筆記	筆記テスト②



国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい				
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	空港実務概要	CAのDVD 幹線とローカル線				
学年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	北村 裕美	2	空港コード・スリーレターコードとは？ツリーレターコードとは？	空港の基礎知識				
科目名	航空ビジネス I	時間数	34単位時間	3	グランドスタッフ お仕事DVD	GSとは？DVD				
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	客室乗務員 お仕事DVD	CAとはDVD				
使用テキスト名	ANAグランドスタッフ入門			5	グランドハンドリング お仕事DVD	GHとはDVD				
補助教材	パワーポイント 月間エアステージ			6	スリーレターコード 小テスト タイムテーブル(ANA)説明	小テスト				
科目概要と科目到達目標				7	旅客ハンドリング業務とは	様々な職種を知る				
				8	IATAとICAOについて	役割の違いについて				
<p>○科目概要:航空業界に必要な基礎知識を始め、航空業界で働く人に必要な専門知識を学ぶ。空港ハンドリング整備・出入国・保安関連業務・機内での業務・オフィスでの業務など様々な職種に対応できる科目である。</p> <p>○科目到達目標:航空業界に必要な基礎知識と専門知識を習得し、臨機応変に対応できるよう即戦力になるよう小テストやロールプレイなども併せて到達目標とする。</p>				9	航空業界の基礎知識	3レター・2レター 小テスト				
				10	世界の空港ランキング	世界の空港を知る				
				11	航空券について	航空運賃の種類と解説国内・国際				
				12	LCCとFSAの違いについて	仕事内容と差別化				
				13	アライアンスについて	様々な航空会社のアライアンス メリット&デメリット				
				14	コードシェアと共同事業 英国SKYTRAX社 5スターエアラインとは？ 空港ラウンジ	共同運航について				
				15	航空約款 テスト	テスト				
				16	航空業界 専門用語① スリーレターコード小テスト	小テスト				
				17	航空業界 専門用語② スリーレターコード小テスト	小テスト				
				18	国内航空約款	第1条～第9条 定義 約款とは				
<p>○航空業界の基礎知識を習得するために、毎回小テストの実施。基礎固めができたなら、航空約款から始まり、それぞれの航空会社などポイントをまとめて進めていく。</p> <p>学習方法としては、毎回小テストなどがあるので基礎知識を理解し習得することが課題である。</p>				19	国内航空約款	第10条～第17条 座席指定 有効期間				
				20	国内航空約款	第18条～21条 変更				
				21	国内航空約款	第22条～26条 取り消し 払戻				
				22	国内航空約款	第27条～31条 手荷物とは				
				23	国内航空約款	第27条～31条 保安検査				
				24	国内航空約款	第32条～35条 手荷物禁止項目				
				25	国内航空約款	第36条～38条 受託手荷物 愛玩動物				
				26	国内航空約款	第39条～42条 超過手荷物				
				27	国内航空約款	第39条～42条 従価手荷物				
				28	国内航空約款	第43条～第52条 責任				
<p>①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%</p> <p>【成績評価基準】</p> <p>A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた</p> <p>B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している</p> <p>C=良(79-70点) 到達目標を達成している</p> <p>D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している</p> <p>E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない</p>				29	国内航空約款	まとめ				
				30	国内航空約款	テスト				
				31	航空機について知ろう！ボーイング社・エアバス社とは？	2大航空機メーカー				
				実務経験教員の経歴				32	飛行機の種類 B737・B767-200・300 B777-200・300 B787 A320 A300 A330 A380他	機種とは
				航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界に必要な航空約款や出入国関係法令や専門知識など航空に関わる実務経験7年。				33	まとめ	まとめ
								34	空港ビジネスまとめ 後期テスト	テスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	選択必須	1	グランドスタッフの資質	どんな人柄が求められるか
学年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	北村 裕美	2	グランドスタッフの仕事内容 GSの役割	様々な仕事を把握する 仕事の役割から仕事の重要性
科目名	グランドスタッフ実習 I	時間数	17単位時間	3	GSの1日のスケジュール	1日のスケジュールから体力勝負の仕事である
開講期間	前期	授業形態	対面授業	4	GSに関わるスタッフ	個人で仕事をするのではなく、チームで動くチームワーク
使用テキスト名	ANAグランドスタッフ入門			5	GSに関わるスタッフ	
補助教材	エアステージ パワーポイント スライド			6	チェックイン前に知っておきたいこと	専門知識の把握
科目概要と科目到達目標 グランドスタッフになる為の資質から始まり、仕事内容を把握する。 また、それぞれの仕事内容を項目に沿って学ぶことで専門的知識を学び身に付けることができる。 到達目標としては、翌年の就職活動に少しでも活用できるよう自分自身が働いていることをイメージし何がグランドスタッフとして合っているのか把握する。				7	チェックイン前に知っておきたいこと	
				8	飛行機に関する基礎知識 飛行機が飛ぶ原理	専門知識の把握
授業の進め方・学習方法・課題 項目に沿って進めていく。学習方法としては、それぞれ知識を学びそれを実技で落としいくものとする。				9	飛行機に関する基礎知識 飛行機が飛ぶ原理	
				10	GSが働く部署 マナーと教養	様々なサービスに対応できるよう把握する
				11	GSが働く部署 マナーと教養	
				12	航空券と搭乗券の違い 搭乗手続きとは	座席指定について
評価方法・成績評価基準 ①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				13	航空券と搭乗券の違い 搭乗手続きとは	
				14	アナウンス 発声練習	実際のアナウンスやってみる
				15	アナウンス 発声練習	実際のアナウンスやってみる
				16	まとめ	
実務経験教員の経歴 航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界で必要な航空約款や出入国関係法令や専門知識など航空に関わる実務経験7年。				17	評価	
				18		
				19		
				20		
				21		
				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	客室乗務員の資質 客室乗務員の仕事内容	どんな人柄が求められるか
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	選択必須	2	CAの役割 保安要員・サービス要員	保安要員とサービス要員の役割から仕事の重要性
学 年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	富樫先生	3	CAの役割 保安要員・サービス要員	
科 目 名	客室乗務員実習 I	時間数	17単位時間	4	CAの1日 CAのフライトスケジュール	1日のスケジュールから体力勝負の仕事である
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	CAの1日 CAのフライトスケジュール	
使用テキスト名				6	フライト前に知っておきたいこと	専門知識の把握
補助教材	パワーポイント			7	フライト前に知っておきたいこと	
				8	飛行機に関する基礎知識	専門知識の把握
<b>科目概要と科目到達目標</b>				9	飛行機に関する基礎知識	
客室乗務員になる為の資質から始まり、仕事内容(保安要員とサービス要員)を把握する。				10	CAが働く機内 免税の知識	様々なサービスに対応できるように機内を把握する
また、それぞれの仕事内容を項目に沿って学ぶことで専門的知識を学び身に付けることができる。				11	CAが働く機内 免税の知識	
到達目標としては、翌年の就職活動に少しでも活用できるよう自分自身が働いていることをイメージし何が客室乗務員として合っているのか把握する。				12	CAの働く場所 機内 エコノミーとビジネス・ファーストクラス	エコノミークラスとファーストクラスにサービスの違い
				13	CAの働く場所 機内 エコノミーとビジネス・ファーストクラス	
				14	CAのアナウンス(PA)	アナウンスとは。それぞれのアナウンスの種類
				15	CAのアナウンス(PA)	
<b>授業の進め方・学習方法・課題</b>				16	まとめ	
項目に沿って進めていく。学習方法としては、それぞれ知識を学びそれを実技で落としいくものとする。				17	評価	
				18		
				19		
				20		
<b>評価方法・成績評価基準</b>				21		
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22		
				23		
				24		
<b>【成績評価基準】</b>				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
<b>実務経験教員の経歴</b>				32		
航空会社にて客室乗務員として国内線、国際線の実務経験あり、航空業界で必要な航空約款や出入国関係法令や専門知識など航空に関わる実務経験あり。				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	はじめに	マナーとは？
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	2	身だしなみチェック	スーツの着こなし方
学 年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	北村 裕美	3	基本動作 立ち方と挨拶①	立ち方の姿勢
科 目 名	マナー・グレース・レッスン	時間数	17単位時間	4	基本動作 立ち方と挨拶②	歪んだ姿勢
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	基本動作 お辞儀の仕方①	お辞儀の種類 それぞれの意味
使用テキスト名	ビジネスマナー			6	基本動作 お辞儀の仕方②	お辞儀の種類 それぞれの意味
補助教材	パワーポイント スライド			7	ビデオ撮影	
				8	ビデオ撮影⇒確認 チェック	
科目概要と科目到達目標				9	基本動作 入退室の仕方①	入室の仕方
○科目概要:航空業界に必要なマナーと社会人としてのマナー知識を身に付ける				10	基本動作 入退室の仕方②	着席の仕方
○科目到達目標:航空業界に必要なマナーと所作を習得し、臨機応変に対応できるよう即戦力になるよう小テストやロールプレイなども併せて到達目標とする。				11	基本動作 入退室の仕方③	一連の流れ
				12	ビデオ撮影	入退室の一連の流れビデオ撮影
				13	ビデオ撮影⇒確認 チェック	動作チェック
				14	歩き方	
授業の進め方・学習方法・課題				15	案内の仕方①	エレベーター
○実践的にロールプレイ形式の授業とする				16	案内の仕方②	階段
				17	まとめ	その他
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22		
【成績評価基準】				23		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界から得たマナーなど、社会人にて必要なビジネスマナー対応など関わる実務経験7年。マナープロトコル協会より認定講師				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	選択必修	1	韓国語について	文字、基本的な発音の習得
学 年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	柳・宇都宮・中林	2	基本の母音	母音の特徴を学ぶ
科 目 名	韓国語 I	時間数	68	3	基本の子音	子音の特徴を学ぶ
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	合成母音	母音の種類について学ぶ
使用テキスト名	基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版			5	パッチム	位置や場所を話すことができる
補助教材				6	文字の復習	文字についての総まとめ
科目概要と科目到達目標				7	基本的なフレーズと挨拶	挨拶の種類とフレーズを使う
				8	第1課 私は浅井ゆかりです	自己紹介ができる
科目到達目標:ハングル能力検定試験 5級取得または5級取得程度の文法と単語の習得 定型の挨拶や簡単な会話ができるようになる。 文字をみて正しい発音ができるようになる。				9	第2課 出身はソウルですか	出身地について学ぶ
				10	第3課 図書館ではありません	時間を話す
				11	第4課 時間がありますか	日にちを話す
				12	第5課 何をしますか	やりたいことを伝える
				13	第6課 貿易会社で働いています	仕事について話す
				14	第7課 服を買います	予定について話す
授業の進め方・学習方法・課題				15	前期 復習①	テキストの復習
				16	前期 復習②	テキストの復習
前期では文字の習得を主な目標とし、文字を見て発音できるように グループワークなどを通じて行う。 後期は、日常生活に必要な単語を習得し、意思疎通に最低限必要な文法を 講義形式中心に行う。授業後半では必ず発話練習をペアワークで行う。				17	前期試験	
				18	第8課 スーパーでよく買います①	買い物に必要なことを話す
				19	第8課 スーパーでよく買います②	豆体が作れる
				20	第9課 1万ウォンです①	お金について学ぶ
評価方法・成績評価基準				21	第9課 1万ウォンです②	お釣りについて学ぶ
				22	ハングル能力試験5級検定対策 ①	模擬問題を解く
				23	ハングル能力試験5級検定対策 ②	模擬問題を解く
				24	ハングル能力試験5級検定対策 ③	模擬問題を解く
				25	ハングル能力試験5級検定対策 ④	模擬問題を解く
				26	第10課 今、何時ですか①	時間について話す
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				27	第10課 今、何時ですか②	時間について話す
				28	第11課 日本語を話されますか①	第3者に紹介する
				29	第11課 日本語を話されますか②	よりフォーマルな場で自己紹介する
				30	第12課 バスは行きません①	乗り物について話す
				31	第12課 バスは行きません②	乗り物について話す
				32	後期 復習①	テキストの復習
実務経験教員の経歴				33	後期 復習②	テキストの復習
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	発音編	声調と単母音の習得
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	選択必修	2	発音編	子音の習得
学 年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	富田	3	発音編	複母音と鼻母音の習得
科 目 名	第二外国語中国語 I	時間数	68単位時間	4	発音編	発音まとめ～ウォーミングアップ
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	第一課 文法説明	「AはBです」が言える
使用テキスト名	グッと入門中国語			6	第一課 入替練習	「AはBです」が言える
補助教材	中国語検定過去問題			7	第一課 本文	「AはBです」が言える
				8	第一課 練習問題と漢字ドリル	「AはBです」が言える
科目概要と科目到達目標				9	第二課 文法説明	モノを指して「これは～です」が言える
中国語検定試験準4級取得または準4級取得程度の文法と単語を習得する。 中国語で定型の挨拶や簡単な日常会話ができるようになる。 文字を見て正しい発音ができるようになる。				10	第二課 入替練習	モノを指して「これは～です」が言える
				11	第二課 本文	モノを指して「これは～です」が言える
				12	第二課 練習問題	モノを指して「これは～です」が言える
				13	第三課 文法説明	簡単な動作が言える
				14	第三課 入替練習	簡単な動作が言える
授業の進め方・学習方法・課題				15	第三課 本文	簡単な動作が言える
前期では正しい発音と文字の習得を目標とし、文字を見て発音できるように訓練する。 後期は主に講義を通じて、日常生活に必要な単語や表現を習得し、 意思疎通に最低限必要な文法を学ぶ。発話練習や適宜検定の過去問題にも取り組む。				16	第三課 練習問題と漢字ドリル	簡単な動作が言える
				17	前期試験	前期学習内容の定着
				18	第四課 文法説明	モノの状態が言える
				19	第四課 入替練習	モノの状態が言える
				20	第四課 本文	モノの状態が言える
評価方法・成績評価基準				21	第四課 練習問題と漢字ドリル	モノの状態が言える
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	第五課 文法説明	年齢や学年が言える
				23	第五課 入替練習	年齢や学年が言える
				24	第五課 本文	年齢や学年が言える
				25	第五課 練習問題と漢字ドリル	年齢や学年が言える
				26	第六課 文法説明	建物の場所が言える
				27	第六課 入替練習	建物の場所が言える
				28	第六課 本文	建物の場所が言える
				29	第六課 練習問題と漢字ドリル	建物の場所が言える
				30	第七課 文法説明	時間が言える
				31	第七課 入替練習	時間が言える
実務経験教員の経歴				32	第七課 本文	時間が言える
				33	第七課 練習問題と漢字ドリル	時間が言える
				34	後期試験	後期学習内容の定着

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	はじめに	航空業界・ANAについて
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	2	第1章 able 初級編 航空基礎知識	用語解説
学 年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	北村 裕美	3	第1章 able 初級編 航空基礎知識	ANAWebサイト 搭乗の流れ
科 目 名	INFINI/able講座	時間数	68単位時間	4	第2章 able 初級編 運賃	運賃の概要 国内航空券の流通と今昔
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	第2章 able 初級編 運賃	各種運賃について
使用テキスト名	INFINI able国内線講座 2022			6	第3章 able 初級編 able 端末概要	業務開始・終了 キーボード操作方法
補助教材	パワーポイント スライド			7	第4章 able 初級編 空席照会	空席照会概要 マルチ空港 PNR概要
				8	第4章 able 初級編 空席照会	お客様情報入力 座席指定 発券概要
科目概要と科目到達目標				9	第5章 able 初級編 ANA会員予約 待ち予約 乗継系予約	ANAマイレージクラブ会員
○科目概要:航空業界に必要な基礎知識を始め、航空業界で働く人に必要な専門知識を学ぶ。ANAが使用してable端末から航空券の予約発券業務を専門的に学ぶ。				10	第6章 able 初級編 変更可能な割引運賃	運賃種別の入力が必要な運賃
○科目到達目標:検定資格を取得をすることで、即戦力を身に付け卒業後すぐに活躍できるよう指導小テストやロールプレイなども併せて到達目標とする。				11	第6章 able 初級編 変更可能な割引運賃	幼児 ジュニアパイロット
				12	第7章 able 初級編 PNR検索 第8章 PNRの変更	PNRレコードロケータからの検索 マイレージからの検索他
				13	第8章 able 初級編 交換発行	交換発行の概要
				14	第9章 able 初級編 解約 第10章 払戻し	変更可型 全解約 一部解約 払戻概要 変更可型 払戻手数料
授業の進め方・学習方法・課題				15	第10章 able 初級編 払戻し	払戻概要 変更可型 払戻手数料
○授業開始前は、基礎知識を習得するために、毎回小テストの実施。				16	検定試験 補講	検定対策授業
検定取得に向けてスキルを身に付けていく				17	able 初級検定試験	
学習方法としては、毎回小テストなどがあるので基礎知識を理解し習得することが課題である。				18	第1章 able 中級編 航空基礎知識	ANA Baggage Drop 重量制限
				19	第2章 able 中級編 運賃	主な運賃の詳細(変更不可型)
				20	第4章 able 中級編 空席照会	3章なし コードシェア
評価方法・成績評価基準				21	第4章 able 中級編 座席指定の概要 支払い手段	アサインの仕方・カード決済の方法
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	第5章 able 中級編 ANAカード会員	乗継系の空席照会
【成績評価基準】				23	第6章 able 中級編 変更可能な割引運賃	株主優待割引運賃 お体の不自由な旅客
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	第6章 able 中級編 変更可能な割引運賃	障がい者割引運賃
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	第7章 able 中級編 PNRの検索	ANAで取得した予約からの検索
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	第8章 able 中級編 PNRの変更	便の変更条件
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	第9章 able 中級編 PNRの解約	解約概要
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	第9章 able 中級編 一部旅客の解約 一部旅程の解約	
				29	第10章 able 中級編 払戻し	払戻の概要
				30	第10章 able 中級編 払戻し	払戻対象・場所・手数料
				31	第11章 able 中級編 キュー処理	キュー処理の概要
実務経験教員の経歴				32	検定試験 補講	検定対策授業
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界に必要な航空約款や出入国関係法令や専門知識など航空に関わる実務経験7年。				33	able 初級検定試験	
				34	まとめ	感想 次年度へ向けて

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	SUCCESS P59～62企業訪問について①質問事項	就職活動の心構え
学年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	北村 裕美	2	SUCCESS P63 企業訪問のお礼状について	お礼状の書き方
科目名	就職実務 I	時間数	34時間	3	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
使用テキスト名	勝つための就職ガイドSUCCESS 最新最強の一般常識 最新最強のSPI			5	SUCCESS P66 就職試験のマナー	面接時のマナーの理解
補助教材	パワーポイント スライド			6	SUCCESS P67 控室でのマナー	面接時のマナーの理解
				7	SUCCESS P68～69 椅子の座り方、お辞儀の仕方	立ち居振舞について
科目概要と科目到達目標				8	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
科目概要:就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う				9	最新最強の一般常識 総合問題	一般常識問題対策
科目到達目標:就職試験に向けて、履歴書の内容を自分の言葉で自分らしく伝えられ、希望先企業への内定が目標。				10	SUCCESS P70 面接試験対策 ①面接試験の形態	面接対策
				11	個人面接 ①受験者1に対して面接官1人②受験者2に対して面接官1人	面接対策
				12	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
				13	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
				14	個人面接練習 実践	面接時のマナーの理解
授業の進め方・学習方法・課題				15	SUCCESS P71 面接試験対策 ①集団面接について	集団面接で大切なこと
就職試験の為に一般常識問題、SPI対策を中心に、模擬面接、グループディスカッションを行い、面接試験に備える。				16	SUCCESS P71 面接試験対策 ①グループディスカッション	グループディスカッション
対面授業と遠隔授業の併用実施				17	集団面接練習 実践	面接練習のコツ
				18	集団面接練習 実践	面接練習のコツ
				19	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
				20	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
評価方法・成績評価基準				21	グループディスカッション 実践	模擬グループディスカッション
①一般常識テスト30% ②書類作成の理解度10% ③出席率50% ④面接対策10%				22	SUCCESS P79 圧迫面接の対処法	圧迫面接時の対処法とは
【成績評価基準】				23	スピーチの訓練	人前での1分間のスピーチのポイント
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	スピーチの実践演習	実践1分間のスピーチのポイント
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	適性検査について	業界によって違う検査の特徴
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	適性検査の種類と内容	業界によって違う検査の特徴
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	受験後の報告	入社承諾書、お礼状の書き方
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				29	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				30	最新最強の一般常識 非言語能力問題	SPI対策問題
				31	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
実務経験教員の経歴				32	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
				33	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題
				34	最新最強の一般常識 言語能力問題	SPI対策問題



国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Chapter1 1. Vowel & Diphthong Lesson1	母音の発音を理解する
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	2	1. Vowel & Diphthong Lesson2	母音の発音を理解する
学 年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	鈴木先生	3	1. Vowel & Diphthong Lesson3	母音の発音を理解する
科 目 名	Pronouciation I	時間数	34単位時間	4	1. Vowel & Diphthong Lesson4	母音の発音を理解する
開講期間	通年	授業形態	オンライン・対面授業	5	1. Vowel & Diphthong Lesson5	母音の発音を理解する
使用テキスト名	Sounds Like American			6	1. Vowel & Diphthong Lesson6	母音の発音を理解する
補助教材				7	1. Vowel & Diphthong Lesson7	母音の発音を理解する
				8	1. Vowel & Diphthong Lesson8	母音の発音を理解する
科目概要と科目到達目標				9	1. Vowel & Diphthong Lesson9	母音の発音を理解する
科目概要: 日本語の発音とアメリカ英語の発音の違いを学び、実際のコミュニケーションに役立つ力を養う 科目到達目標: 日本語の発音とアメリカ英語の発音の違いを学び、実際のコミュニケーションに役立つ力を養う				10	1. Vowel & Diphthong Lesson10	母音の発音を理解する
				11	2.Consonants & Semivowels Lesson11	子音の発音を理解する
				12	2.Consonants & Semivowels Lesson12	子音の発音を理解する
				13	2.Consonants & Semivowels Lesson13	子音の発音を理解する
				14	2.Consonants & Semivowels Lesson14	子音の発音を理解する
授業の進め方・学習方法・課題				15	Review	
日本語の発音とアメリカ英語の発音の違いを学び、実際のコミュニケーションに役立つ力を養う				16	Assessment	
				17	まとめ	まとめ
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験 50 % ②授業への積極的参加(出席率)20% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22		
【成績評価基準】				23		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	サービスは有料か無料か？	サービスとは何か？
学年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	北村裕美	2	サービスとホスピタリティの違いは何か？	サービス&ホスピタリティの理解
科目名	顧客満足とクレームマネジメント	時間数	17単位時間	3	ホスピタリティとは？	
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	4	顧客満足とは？ロイヤルカスタマーを作る	期待値と顧客満足を超えるとは
使用テキスト名				5	リアル企業の紹介①-1	リッツカールトン
補助教材	パワーポイント			6	リアル企業の紹介①-2	
				7	リアル企業の紹介①-3	
				8	リアル企業の紹介②-1	スターバックスコーヒー
科目概要と科目到達目標				9	リアル企業の紹介②-2	
企業研究から、企業のサービスとはどんなものなのか？ また、サービスとは何か？ホスピタリティとの違いは？などを学び、将来接客業に就くために必要なサービスマインド またクレーム対応としてどのような対応をすれば良いか？なども併せて学ぶ。				10	リアル企業の紹介②-3	
				11	企業研究を何故するのか？	ミスマッチングを防ぐ やりたいことを見つける
				12	企業研究のやり方・進め方	会社情報から何を読み解くか？何を見る
				13	クレームは何故起こるのか？	自己中心的な心理
				14	お客様の心理を理解する	不快・不満・に思ふ心理・接客時の対応
授業の進め方・学習方法・課題				15	2次クレームとヒューマンエラーとは？	アフターケアとビフォーサービス
様々な企業のサービスやホスピタリティを学び、ディスカッションも併せて進めて考えさせる。 最後には、自分の興味のある企業を絞り込みパワーポイントで発表する。				16	発表	企業研究 発表
○対面授業と遠隔授業の併用実施				17	発表	企業研究 発表
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22		
【成績評価基準】				23		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
航空会社にてグランドスタッフの国内線、国際線の実務経験あり、航空業界で必要な航空約款や出入国関係法令や専門知識など航空に関わる実務経験7年。				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	好印象を与える表現①	相手への印象を高めるための表現の理解
学 年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	丹田先生	2	好印象を与える表現②	相手への印象を高めるための表現の理解
科 目 名	美しい日本語	時間数	17時間	3	依頼の表現①	目上の相手に対する依頼の仕方の理解
開講期間	後期	授業形態	対面授業	4	依頼の表現②	目上の相手に対する依頼の仕方の理解
使用テキスト名				5	断りの表現①	言いづらいことの伝え方の理解
補助教材	パワーポイント			6	断りの表現②	言いづらいことの伝え方の理解
科目概要と科目到達目標				7	気持ちを伝える表現①	自身の気持ちの丁寧な伝え方の理解
日本語の多様な語彙や言い回しに触れることで、日常生活やさまざまな場における表現力の向上を目標とする				8	気持ちを伝える表現②	自身の気持ちの丁寧な伝え方の理解
				9	繰り返しを避ける表現①	同じ言葉の繰り返しを避ける表現の理解
				10	繰り返しを避ける表現②	同じ言葉の繰り返しを避ける表現の理解
				11	会議や打ち合わせの表現①	会議や打ち合わせで用いる表現の理解
				12	会議や打ち合わせの表現②	会議や打ち合わせで用いる表現の理解
授業の進め方・学習方法・課題				13	訪問・宴会・手紙での表現①	訪問時・宴会の場・手紙で用いる表現の理解
				14	訪問・宴会・手紙での表現②	訪問時・宴会の場・手紙で用いる表現の理解
① 語彙や言い回しについての理解と問題演習(プリント使用) ② 学習した語彙・言い回しを使った例文作り ③ 学習した語彙・言い回しを使った会話練習				15	期末試験	学習内容の修得度の確認
				16	季節の言葉・時候の挨拶①	四季それぞれにふさわしい言葉の理解
				17	季節の言葉・時候の挨拶②	四季それぞれにふさわしい言葉の理解
①定期試験 50% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 10% ④学習意欲 10%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				18		
				19		
				20		
				21		
				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
実務経験教員の経歴				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	坂上/矢後/北村	2	SDGsの基本知識について①	SDGsとは何かを理解する
科目名	国際理解 I	時間数	68単位時間	3	SDGsの基本知識について②	SDGsとは何かを理解する
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	SDGsの基本知識について③	SDGsとは何かを理解する
使用テキスト名				5	SDGsの基本知識について④	SDGsとは何かを理解する
補助教材				6	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
				7	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
				8	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
科目概要と科目到達目標				9	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。				10	地域の問題を解決するための行動とは①	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、				11	地域の問題を解決するための行動とは②	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。				12	地域の問題を解決するための行動とは③	2年生の企画提案について再考し、改善策を考える
また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら				13	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				14	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
前期では、SDGsについての理解を深め、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、				16	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。				17	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う				18	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				19	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
				20	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
評価方法・成績評価基準				21	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
①発表内容40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
【成績評価基準】				23	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	活動の振り返り⑥	改善点の提起
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	1年間の活動報告をまとめる①	活動報告をまとめる
				29	1年間の活動報告をまとめる②	プレゼンテーションスキルを学ぶ
				30	1年間の活動報告をまとめる③	
				31	クラス内で活動報告を発表する	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい				
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	Unit1A People	Introducing yourself				
学 年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	MAYA	2	Unit1B People					
科 目 名	SPEAKING I	時間数	34単位時間	3	Unit2A Bahavior	Greeting people and asking how they are				
開講期間	通 年	授業形態	オンライン授業	4	Unit2B Bahavior					
使用テキスト名	Talk A Lot Book One			5	Unit3A Shopping	Talking about things you need				
補助教材				6	Unit3B Shopping					
科目概要と科目到達目標				7	Unit1～Unit3 Review(except 4)	Giving advice				
				8	Unit4A Vacation					
科目到達目標:外国人と基本的なコミュニケーションが取れる。				9	Unit4B Vacation	Agreeing or disagree with an opinion				
				10	Unit5A Heros					
				11	Unit5B Heros					
				12	Unit6A the Mind					
授業の進め方・学習方法・課題				13	Unit6B the Mind	Expressing degrees of certainty				
				14	Unit4～Unit6 Review					
さまざまなTOPICから自分の意見を考えたうえでグループで発表しながら基本的な形式をマスターする				15	Unit7A City Life	Asking for and giving directions				
				16	Unit7B City Life					
				17	Unit8A All about you	Inviting and offering with Do you want				
				18	Unit8B All about you					
				19	Unit9 A Change					
評価方法・成績評価基準				20	Unit9 B Change	Making and responding to requests				
				21	Unit7～Unit9 Review					
				22	Review and Test Practice	Talking about health problems				
				23	Review and Test Practice					
				24	Assessment					
				25	Unit10 A Health					
				①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				26	Unit10 B Health	Offering compliments about things and abilities
								27	Unit11 A Achievement	
								28	Unit11 B Achievement	
								29	Unit12 A At the Movies	
30	Unit12 B At the Movies									
31	Unit10～Unit12 Review									
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				32	Review and Test Practice					
				33	Review and Test Practice					
				34	Assessment					
実務経験教員の経歴										

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	国際観光大学併修科(4年制)	必須・選択	必須	1	第1章 文の種類	基本的な文の形
学 年	国際エアラインコース 1年生	担当教員	皆川・寺田・坂上	2	第2章 動詞と文型①	be動詞の使い方
科 目 名	Grammer&Writing I	時間数	68単位時間	3	第2章 動詞と文型②	一般動詞の使い方
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	第2章 動詞と文型の復習	be動詞・一般動詞の使い方の復習と確認
使用テキスト名	わかるを作る中学英語問題集			5	第3章 命令文	命令文の基本用法を学習する
補助教材				6	第4章 疑問詞・疑問文①	5W1Hの疑問詞を用いた構文を学習する
科目概要と科目到達目標 科目到達目標:基礎的な英文法を理解し、英語表現力向上を計る				7	第4章 疑問詞・疑問文②	5W1Hの疑問詞を用いた構文を学習する
				8	第5章 進行形①	現在進行形の基本・応用を学習する
授業の進め方・学習方法・課題 英文のイメージトレーニングを身に付けるために文章の基本的な形を覚える 対面授業と遠隔授業の併用実施				9	第5章 進行形②	過去進行形・未来進行形を学習する
				10	第6章 過去の文①	過去形の基本型を学ぶ
				11	第6章 過去の文②	過去形の応用型を学ぶ
				12	第7章 未来の文①	be動詞を用いた未来形を学習する
				13	第7章 未来の文②	助動詞willを用いた未来形を学習する
				14	第8章 いろいろな分	知覚動詞・使役動詞を学習する
評価方法・成績評価基準 ①定期テスト50%、②課題提出率30%、授業に対する意欲20%  【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				15	第9章 There is構文	There is構文の基本型・否定形・疑問形を学習する
				16	復習	前期までの復習
				17	評価	中間テスト
				18	第10章 不定詞①	不定詞の副詞的用法を学習する
				19	第10章 不定詞②	不定詞の名詞的用法を学習する
				20	第10章 不定詞③	不定詞の形容詞的用法を学習する
実務経験教員の経歴				21	第11章 比較	比較・最上級を学習する
				22	第12章 受動態①	受動態の基本型を学ぶ
				23	第12章 受動態②	受動態の応用型を学ぶ
				24	第13章 現在完了形①	現在完了形の基本・応用を学習する
				25	第13章 現在完了形②	現在完了形を用いた疑問形・否定形を学ぶ
				26	第14章 不定詞といろいろな文型	不定詞を用いた様々な形を学習する
				27	第15章 名詞を修飾する句・節	冠詞・特定冠詞について学習する
				28	第16章 関係代名詞①	主格の関係代名詞について学習する
				29	第16章 関係代名詞②	目的格の関係代名詞について学習する
				30	第17章 関係疑問・付加疑問・否定疑問	様々な疑問形を学習する
				31	第18章 感嘆文・話法・仮定法	直接・関係話法、ifを用いた仮定法について学習する
				32	総復習	
				33	総復習	
				34	評価	